

ドイツ映画 —二人の巨匠・ラングとムルナウ—

クラス
コード

32A11

曜日時限 水曜10:45~12:15

受講料 12,600円

定員 30名

単位 1単位

概要 戦前のドイツ映画は、日本にもファンが多く、世界的にも高く評価されています。1924年に始まった「キネマ旬報」の外国映画ベスト・テンにも数多くの作品が入っています。なかでも映画史に名の高いF. ラングとF. W. ムルナウは、世界の映画をリードする名作を残しています。今回はこの二人を中心に映画史に輝くドイツの名作を扱います。

講師 上田 浩二

獨協大学特任教授 専門/日独文化交流史
早稲田大学、筑波大学で教えた後、ドイツで7年
にわたり日独の学術・文化交流の現場で研究と実務を行う

テキスト プリントを配付します

内容 5月16日~6月27日 (全6回)

- ① 5月16日 映画史の中のドイツ映画と二人の巨匠
- ② 5月23日 F. ラングの成功作
- ③ 5月30日 巨匠F. ラング
- ④ 6月13日 F. W. ムルナウの登場
- ⑤ 6月20日 F. W. ムルナウの代表作
- ⑥ 6月27日 日本で愛されたドイツ映画